

流れ制御研究室

長年にわたり研究室を力強く牽引されていた村井教授が、病気のため2月26日に急逝されました。2月に57歳になられたばかりでした。改めましてご冥福をお祈りいたします。研究室が失ったものは大きいですが、田坂教授、朴助教の2名に加え、柳澤・芳田の両客員准教授、大友招聘教員の強力な外部支援を受けて、より力強く研究と教育に邁進していきます。これからもご支援のほどよろしく願いいたします。

昨年度、教育面では、高い技術力でフランスとの共同研究や研究室をサポートしてきた高野君が博士号を取得し、IHIに就職しました。企業でどこまで活躍できるか楽しみにしています。型にはまらない教育方針により、機械いじりを趣味とする学生から、料理や黑板アートを楽しむ学生まで多様な人材を輩出しております。就職先も機械系メーカーに限定されず、昨今の需要に対応して多岐にわたっております。研究については、海底資源回収用のエア・リフトポンプに関する研究（JOGMECとの共同研究）から、食品の降伏応力をその場計測する技術開発（北大病院との共同研究）まで、産学、学内外の学祭的共同研究により、幅広く展開しています。気泡を用いた摩擦抵抗低減研究は成熟の域に達し、実用化が進む技術をさらにアップデートするために努力しております。界面活性剤水溶液の流れ制御特性を明らかにするフランスとの二国間共同研究が2年のプロジェクトを終え、興味深い結果からさらなる発展が期待されています。

